

城取博幸の

ベネルクス3国 ルクセンブルクのスーパーマーケット見聞録

N088

城取フードサービス研究所

城取 博幸

ベルギー ブリュッセルにいます

今回の日程は、成田→ブリュッセル→ルクセンブルク→ドイツ ケルン→デュッセルドルフ→ブリュッセル→アントワープ→オランダ ロッテルダム→ブリュッセル→成田の予定

ベネルクス3国とドイツは鉄道で移動する

今回の目的は、CPのアントワープ工場の視察、インターパック展示会、小売業の視察だ



JALドイツ線のエコノミークラスにもウォシュレットが導入されている  
日本らしい



いつ見ても意味が分からない右下の灰皿

いつもの通りのエコノミークラスの機内食



メインは「マグロかつ丼」



スチームコンベクションオーブンで温めたものだ  
味はいいが、衣が多いためマグロの味があまりしない

2回目の食事は、東京スープストックの野菜スープとパン  
これも最近定番になっている



約 12 時間でドイツ フランクフルトに到着  
ここで 3 時間待ち、ルフトハンザでブリュッセルに向かう  
ルフトハンザのラウンジで加工肉とチーズとピクルスをいただく



さらにプレッツェルも  
この辺はドイツの定番

## 空港内のホットドッグスタンド



注文すればパンに挟んでくれる 繁盛している  
名物のホワイトソーセージも

ケチャップ、マスタード、タルタルソースのディスペンサーが面白い  
大きなパックが逆さまに置かれていて、客は牛の乳を搾るように、好みの量を取る  
無駄が出ない ドイツらしい  
これは日本でもいけそう  
早く導入したほうが勝ち

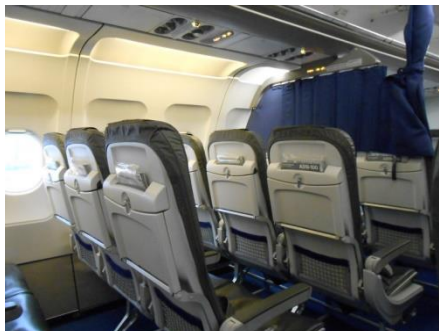
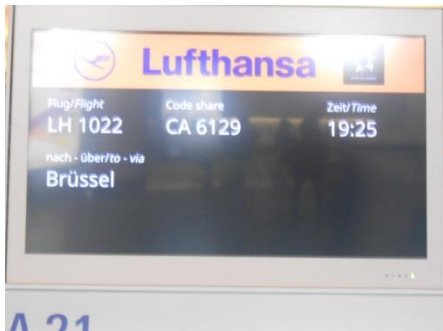


サンドイッチスタンド「トラディショナル・ベーカリー」と書かれている



ドイツの代表的なサンドイッチが並ぶ  
スープやホットドリンクと組み合わせないと冷たい食事になる

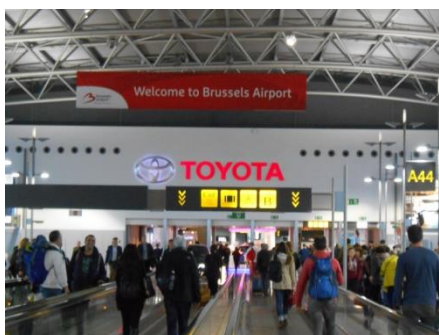
## LH でブリュッセルに向かう



かなり古い機種

1 時間弱のフライトであるため我慢できる

到着 8 時を過ぎてもまだ外は明るい



事件のあったブリュッセルの空港

トヨタの看板が目立つ

日本を出てから 16 時間くらいかかっている

エコノミークラスの旅はツライ

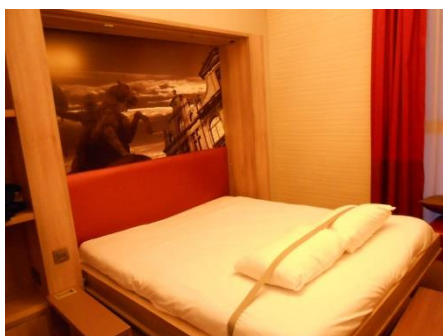
足もむくんで

タクシーで市内へと向かう

ドライバーの運転が雑なので吐きそうになる

市内のアパートメントホテルに到着

壁から倒すタイプのベッド



小さなキッチンもついている

バスタブがあるのがうれしい



グランプラスの近くで立地は最高

水を買いに外に出たが、夜はあまり歩かないほうよさそうだ  
ベッドに潜り込み爆睡

今日はツアーでベネルクス 3 国の一つ「ルクセンブルク」へ行く予定

仲間が情報を提供してくれた「オーバーバイス」というスイーツの店に行く予定  
できればそこでランチもとりたい

### ルクセンブルク観光と「OBERWEIS(オーバーバイス)」

ブリュッセル発のルクセンブルク観光を申し込む

水曜日、日曜日だけの限定ツアー

ガイドは英語とスペイン語で解説

世界中からツアーリストが集まっている

日本人は私と、もう一人の女性と二人だけ

女性は自分探しの一人旅のようだ(余計なことだが)

バスはほぼ満席



バスの車窓から見える景色は、牧草と家畜と麦畑だけ

北緯 60 度以北では、厳しい冬の環境であるため、オリーブもブドウも育たない

家畜の肉とバターとパンとビール、ジャガイモの世界だ  
食文化は地中海の国々とは違う

菜の花畑が広がる

日本の3月～4月の気候かな



牧草の中に数多くの風車

昔から風車は使われているだけに風の強い地域だ

3時間ほどで、ベルギーとルクセンブルクの国境を超える

ルクセンブルク郊外には「LIDL」の看板



ベルギーに数多くある、オランダアホールド傘下の「DELHAIZE」というスーパーマーケット  
残念ながら、今回はツアーであるため時間がなく、スーパーマーケットは視察できず  
今回は観光とレストランが中心になってしまった

市内に到着

ルクセンブルクの概要

- ・面積は日本の神奈川県ほどの大きさ
- ・人口は約50万人
- ・言語は、ルクセンブルグ語、フランス語、ドイツ語
- ・経済は、世界の金融機関が集まる金融大国

ロンドンに次ぐユーロ市場

豊かな国だ



国旗は 13 世紀の大公の紋章を模したもの

今日のガイドだ

ベネルクス 3 国はラテン系とゲルマン系の民族が入り混じった国

彼はラテン系だ

ゆっくり英語を話してくれるため、聞きやすい



ガイドについて観光

ノールダム寺院

大公宮



こんな古い街並みを歩く



こんな古い看板がいたるところ見える



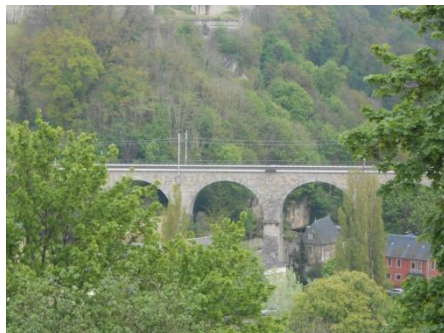
花の市場がでている

要塞都市であるため、川の脇に都市が形成されている





## ボックの砲台



## 観光これくらいして目的の菓子屋「OBERWEIS」へ向かう



数々の賞を受賞している有名店  
パテシエの聖地らしい  
日本人も修行に来るらしい



歴史は 50 年ほど  
今は移転して新しい店になっている

1 階物販、2 階、3 階がレストラン



菓子だけでなく前菜、サラダ、肉料理、魚料理などのデリカテッセンも並ぶ  
パリの「ファッション」のデリカ売場のようだ

盛り付けもきれいだ



チョコレートの陳列

土産物コーナー

後で、「ヘーゼルナッツの спреッド」をみやげに買う

チョコレートは日本でも買えるようだ



2階、3階はカジュアルなレストラン

2時をすぎてもほぼ満席

価格もメインが20ユーロ前後

せっかくなので2階のレストランでランチ



ランチの肉料理はハンバーガー、ビーフカツレツとステーキ  
アンガス牛のサーロインステーキを注文  
サーロインというよりブアイ肉  
焼き色、食感から熟成肉だ  
淡泊だが深い味わいでおいしかった

つけあわの野菜が凄い  
温野菜、生野菜、フライと料理方法をわけている  
回りを見て分かったことだが、ここはサラダがおすすめのような



コーヒーにはチョコレートがついてくる

せっかくだから、このままでは引き下がれない  
さらに1階のオープンテラスに降りて  
「サバラン」と「モンブラン」と「チョコエクレア」、エスプレッソを注文  
スタッフは「これだけひとりで食べるのかと驚く」  
日本のケーキ定番だが、ここで本場の味を確かめなくては  
満腹だがこれは意地だ  
忘れていたのか「チョコエクレア」だけがでてこない  
まあたぶんたべきれないため、良しとする



サバランは、ラム酒の入ったスポイトがついている

PICARD の冷凍デザートもこのスタイル



中はスポンジというより「海綿状」

しっとりとした大人の味

モンブラン



栗 100%でマロングラッセをペースト状にした味

中にはベリーのジャムが入っている

上品なクリームの甘さ

店の前にはこんな像も



ランチとデザートを満喫

再びバスに乗り、ベルギーのディノという川沿い町による



たまには記念撮影も



川辺に浮かぶ景色



カルフルも見える

夜 8 時過ぎに無事ブリュッセルに到着

参考までに、このツアーにもし参加される場合は、バスの右側の席を確保することをおすすめします

車窓の景色が全然違います

明日は、ブリュッセル市内のスーパーめぐりの予定